



クライマー Ver 3

「くらいまあ」山之上の「登山家（とざんか）」



令和6年6月3日
校長通信（だより）5

惑星直列！（わくせい ちょくれつ）

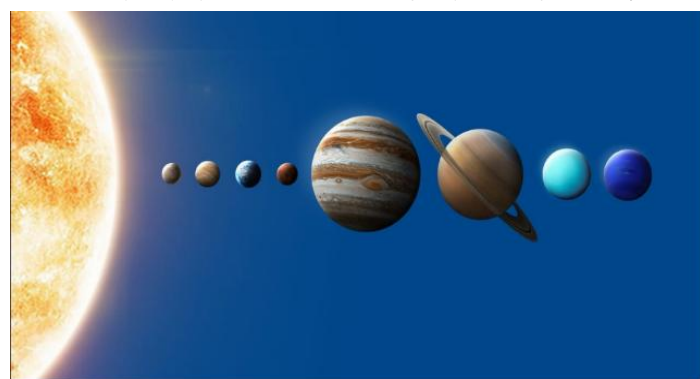
（図1）



上の図のように、太陽に近い方から「水星」「金星」「地球」「火星」・・・そして、一番大きな「木星」、輪をもっている「土星」その外側に「天王星」「海王星」という順番にならんで、太陽のまわりをまわっています。なぜまわっているか、というと太陽に引っぱられている力（引力）が働いているからです。

この太陽の周りをまわることを「公転」と言います。地球は356日かけて太陽のまわりを1周します（これが1年です）

ちなみに、火星は、686日、木星は、約12年、土星は約29年かけて1周（公転）しています。（右の表をみてください）



今回は、水星、火星、木星、土星、天王星、海王星の6つが並んでいるように

みなさんは、「太陽系」という言葉を聞いたことがあるでしょう。太陽が中心にあって、その周りをいくつかの星がまわっています。そのまわっている星を「惑星」といいます。

同じ方向に見える現象です。（図3）

（図3）



左から 木星 水星 天王星 火星 海王星 土星

い日に早起きできたら、東の空を見上げてみましょう。木星や火星、土星は、夜中に見える時は、とっても明るいので、すぐに見つけることができます。天王星や海王星は、もともと望遠鏡を使わないと見えないので、見つけることはなかなか難しいです。

金星は、今は、太陽と重なってしまっていてよく見えませんが、今年の10月くらいからは、夕方西の空に「1番星！」として輝いて見えるでしょう。

	大きさ 地球の約何倍？	自転（1日は？）	公転（1年は？）
太陽	109 倍	25 日	
水星	地球の約38%の大きさ	58 日	87 日
金星	地球の約95%（ほぼ同じ）	243 日	224 日
地球	1	1 日（24 時間）	1 年（365 日）
火星	地球の約53%（地球の半分）	1 日	2 年（686 日）
木星	11 倍	9.8 時間	11.8 年
土星	9 倍	10.6 時間	29.4 年
天王星	4 倍	17 時間	84 年
海王星	3.8 倍	16 時間	165 年

これからは、織姫・彦星も夜に見えるようになります。ぜひとも、夜空を見上げて、夏の星座も探してみましょう。+++++

2024 年6月2日の早朝、東の空にこんな感じに見えたようです。

おそらく、すぐに太陽が昇ってきてしまうので、この図のように、はっきり見ることができないかもしれません。

でも、数日は6つの惑星がならんでいるので、天気がよ